

12月6日に兵庫県公立高等学校PTA連合会研究大会が神戸芸術センターで開催されました。

本校からは校長先生と本部役員10名が参加しました。

今年度は神戸・淡路地区が担当で北須磨高校PTAから司会進行やナレーション、桜井会長の閉会挨拶と運営に大きく関わりました。

開会式では優良PTA教育長表彰がありました。高砂南高等学校、豊岡高等学校、龍野北高等学校に贈られました。子供たちのために家庭、学校、地域で教育力の向上に実戦活動で努められたということでの表彰でした。

次に記念講演です。今年は神戸市出身のプロシンガーソングライターで、防災士 危機管理士等の資格を持ち音楽を通じた防災啓発に取り組む 石田裕之氏が登壇しました。神戸市立鷹匠中学校の生徒達と合唱曲『ともしび』を制作し話題になりました。自身が阪神淡路大震災を中学生の頃に経験しボランティア活動を始めるきっかけになったそうです。東日本大震災や能登地震での支援活動は100回を超えとの事です。炊き出しや瓦礫作業をしつつ慰問演奏行っているそうです。

スライドと共に映し出された支援活動とその歌声は優しく被災した人々に優しく寄り添っていて心が暖かくなりました。

また家庭や地域で出来る防災も学べた有意義な時間でした。

最後の実践活動では淡路三原高等学校、尼崎高等学校、三田祥雲館高等学校の実践発表がありました。

淡路三原高校では地域で愛され踊り継がれた大久保踊りの継承事業の取り組みについてです。体育祭で続ける事により生徒達に郷土愛の芽生え、地域の方との交流が出来たそうです。

その生徒達が保護者となりPTA役員となって次世代に踊り継がれる事を願っているとの事でした。

尼崎高校はPTA連合会が6つの地区にわかれて小中高のPTAが所属し、PTCAを企画し、地域の方との交流を深めているとの事です。高校部会は学校の協力を得ながら9校の生徒会の生徒達が集まって「生徒交流会」を行っている活動報告でした。

三田祥雲館高校は教育支援活動としては「福祉体験学習」や「未来につながる食の力と健康づくり」のテーマで学び子供たちの成長を地域、保護者、学校支えているという活動報告でした。

時代とともにPTA活動が縮小されていますが、サポーター制度を取り入れながら、楽しく、生徒達の為に活動を続けていく事が大切ではないかと思いました。

今後も子供たちの個性や才能を伸ばし明るい未来をサポートするため PTA 活動にご協力頂きますようお願いいたします。

